



洞爺湖外来生物生態系を破壊する外 来種のウチダザリガニを捕獲し、生息状況を調査しています。

現在洞爺湖町と壮瞥町の両町を合わせて毎日200匹から300匹捕獲していますが、繁殖力が強いこともあって、



洞爺湖外来生物生息状況調査捕獲事業補助員

加藤 康大さん (35歳)

洞爺湖の水草が減るなどウチダザリガニによる影響が深刻さを増しています。「防除活動を1年間でも休止すると相当の数が繁殖するのは明らかで、継続していかなければならぬ」と警鐘をならしている。

退を繰り返している状況です。2007年から環境省のアクティブレンジャーとして洞爺湖に赴任し、ウチダザリガニの問題に取り組みました。今年の春に3年間の任期が終了しましたが、その後も在住し、地元の小学生対象の環境教室などの講師として、環境保護について指導しています。

「小さいうちから正しい知識を持つことは大事で、特に子どもたちに環境保護についてしっかり学んでもらいたい」と普及啓発活動の大切さを語ります。



「にぎわいまつり&ビアガーデン」

「～ジオの恵み～ふれあいテント村
横丁フェスタ 2011」

ダテユウタさんの歌で盛り上がる会場
(ほろ酔いのタベ)

暑い夏の涼を誘う ふれあいイベント

洞爺湖町の暑い夏の涼を誘うビアガーデンが、7月末から8月にかけて各地区で開かれました。

7月29日JR洞爺駅前駐車場特設会場で開かれたのは、「第16回ほろ酔いのタベ」。8月19日・20日には、「にぎわいまつり&ビアガーデン」が洞爺駅前大通会場で行われ、洞爺湖温泉でも8月26日にぎわい広場で、温泉の飲食店などが出店する食のイベント「横丁フェスタ 2011」が催されました。

各会場ではビールを片手に、住民や観光客らが楽しげに語り、杯を重ねていました。



「第16回ほろ酔いのタベ」